

India Weekly

2020年2月25日



(対象期間：2020/2/17～2020/2/21)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年2月20日)



【株式市場】

18日、シタラムン財務相が新型コロナウイルスによる悪影響を受けている製造業の支援策に言及したことを好感して上昇しました。前週14日に通信会社が求めていた電波料の支払猶予の嘆願を最高裁が拒否したことや新型コロナウイルスの世界経済への影響などに対する不透明感の継続、米大手格付け会社が2019/20年のインドの実質GDP成長率見通しを6.6%から5.4%に引き下げたことなどが投資家心理を冷やし、週間では小幅下落となりました。

2020/2/14	2020/2/20	変化率
41,257.74	41,170.12	-0.21%

※21日は休場。

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年2月20日)



【債券市場】

19日と21日が銀行休業日であったため積極的な取引が控えられる中、前週後半に10年債利回りが低下（価格は上昇）した反動や原油価格が高めに推移したことを背景に利益確定の売りが強まり、週間では利回りは上昇しました。

2020/2/14	2020/2/20	変化幅
6.371	6.423	+0.052

※19,21日は休場。

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年2月21日)



【為替市場】

新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や原油価格の上昇などを背景にルピーは対米ドルで下落する一方、円も対米ドルで大きく下落したため、ルピーは対円では上昇となりました。

2020/2/14	2020/2/21	変化率
1.539	1.560	+1.41%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することをご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。